

ROTOBO

Connecting Markets

ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2023年(令和5年)7月5日号 No.1929

目次

■ 2022年の印口貿易の総括と展望	齋藤 大輔 1
■ 統計速報	11
2023年1～5月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／11	
2023年1～5月の日口貿易／12	
■ エトセトラ	15
情報提供セミナー「ロシア事業に関わる日本企業の戦略法務」のご案内／15	
■ トピックス	15
EU、対ロ制裁パッケージ第11弾を発表／15	
日本板硝子、ロシアから完全撤退／15	
北海道総合商事、ロシアから事実上撤退／16	

2022年の印口貿易の総括と展望

(一社)ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所
部長 齋藤 大輔

はじめに

ロシアによるウクライナ侵攻と西側諸国との対立が深刻化する中、インドとロシアが関係を深めている。欧米がロシアからの原油や石炭の輸入を減らした分、インドが増やした分、減少した欧米の分を買い支えた。国際資源価格の上昇も重なり、ロシアの収入を支える形となった。昨年の貿易額は369億ドルと過去最高を更新した。2022年の印口貿易を振り返るとともに、今後を展望してみたい。

1. 原油輸入増で過去最高を更新

昨年1年間のロシアとインドの貿易額は、前年と比べると約3.2倍、10年前と比べると約5.6倍に増加した。なかでも輸入額は、前年と比べると約4.1倍、10年前と比べると約7.1倍に急拡大した。

インド商業産業省が発表した貿易統計によると、昨年1年間、ロシアとインドの貿易額は369億ドルとなった。これは、2021年を3倍も上回り、この10年間で最高だった1年前の116億ドルを超え最高を更新した。

インドは、ロシアによるウクライナ侵攻と西側諸国によるロシアへの経済制裁を巡り、西側と良好な関係を保つ一方、対ロ制裁に加わらずに、ロシアとも良好な関係を維持。欧米とロシアの対立が深まる中、ロシアとの経済的な結び付きを深めている実態が改めて浮き彫りになった。